

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 第4学年1組 林 弘美
第4学年2組 酒井 晋平

- 1 日時 平成25年11月27日(水)
- 2 学年学級 第4学年1組(男子14名 女子14名)
第4学年2組(男子13名 女子14名)
- 3 場所 4年1組教室, 4年2組教室
- 4 単元名 ふるさと府中の自然 ～校区のかんきょう守り隊～
- 5 単元について

○ 本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間「北小周辺の樹木をさぐるう」において、継続的に校内の樹木を観察・調査したり、校区のすてきな場所を見付けたりする活動を経験してきた。また、「北小の野鳥をさぐるう」では、校区の野鳥を観察し、自分が興味を持った野鳥を決めて調べたり、調べたことを新聞等にまとめたりしている。

1学期には榎川の水質を調べるために、水分峡と榎川(北小付近等)の水質を比較することを考え、実際にパックテストを使用したり、水生生物を採取したりして課題を設定した。また、榎川下流の水質汚染の原因を、書籍・インターネット等で調べたり、昔の榎川の様子を家の人にインタビューしたりして探っていった。そして、そこで得た自分の考えをグループで出し合い、KJ法的な手法を使って考えるという経験をしている。

6月に行ったアンケートの結果、「学習課題を見付けるのが好き(77%)」「学習したことをまとめるのが好き(77%)」「学んだことは実行しようと思う(88%)」と、意欲的に楽しんで学習を進めている傾向があることが分かる。

それに対して、「インタビューをしたり、質問をしたりするのが好き(65%)」「まとめたことを発表するのが好き(42%)」と、人とかかわる活動に対しては、あまり好きではないと答える児童が多い。

○ 本単元は、社会科「ごみのしまつと活用」・「命をささえる水」の単元とかかわらせたり、府中町環境課が主催する「キッズ環境調査プロジェクト」に参加するという意識をもたせたりすることで、自分たちのくらしの身近にある水分峡や榎川の環境について自分なりの課題を追究していきやすい単元である。また、身近な環境を題材にしているため、実際に環境調査もしやすく、家族や近所の人に昔の様子をたずねることもできる。自分たちが調査やインタビュー等をして見付けた課題に対して、自分たちに可能な方法で環境を守る活動に取り組もうとすることは、環境に対する見方・考え方を深めるとともに、自分と環境との新たなかかわりをつくり出すことになるとも考える。

そこで、子どもたちの意欲や疑問を大事にしなが、普段の生活に立ち返らせたり、地域の人等への取材活動をさせたりして、自分たちにできることを考えていく活動を設定していきたい。また、人とかかわる活動に苦手意識を持っている児童が多いため、「他者や社会とのかかわりに関すること」の学習の際には、事前にやり方を学習するなどして、自信をもって人とかかわることができるような手立てをしていきたい。そして、校区の環境をより良くすることについて地域の人たちに発信する効果的な方法を探し、まとめていきながら、より自分の考えを深めることができるようにしたい。

- 指導に当たっては、次の二点に留意していきたい。

探究的な学習について

実際に水質調査に出かけたりインタビューをしたりして体験活動を充実させることで、自分たちで課題を見付け、設定していくことができるようにする。また、「キッズ環境調査プロジェクト」隊に任命され、任命証を手渡されることにより、校区の環境を良くしていこうという意欲が高まるようにする。 【課題の設定】

自分たちで実際に調査活動等を行って得たデータや、書籍やインターネット等で調べたりインタビューから得たりしたデータ等から必要な情報を整理したり、分析したりさせるために、K J法的な手法や座標軸を入れたワークシートを用いる方法など手段の工夫をし、整理して考えられるようにしていく。 【整理・分析】

学習してきたことを自分たちの思いだけでまとめるのではなく、相手意識をしっかりもたせ、伝えたい相手を意識したまとめができるよう指導していく。まとめ方も工夫し、地域の人たちにより環境のことを考えてもらえ、自分たちの気持ちが伝わるものを選ぶことができるようにする。また、相手に伝わりやすい発表の仕方や言い方を学習し、自信をもって発表ができるようにさせる。 【まとめ・表現】

協同的な学習について

環境保全というこれまでとは別の視点から北小校区の自然に触れたり、考えたりさせていくことで、自分を取り巻く自然や社会に対するかかわりをより広げるようにする。また、実際に水分峡から続いている榎川の環境を中心にして調査活動等の体験を行う際に、地域で環境を守る活動をされているグループの方々を講師として招いて学ぶ活動を仕組むことで、今までとは異なる視点から考えることができるようにする。その結果をもとにして自分たちが立てた課題を追究していくことで、くらしにかかわる環境に関心を深め、自分自身の生活を環境保全という視点から見直すことができるようにする。

【異なる視点から考え協同的に学ぶ】

個人や学級全体での学習だけではなく、グループ学習を多く取り入れたり、児童の意欲を大事にしながらか活動時間を十分確保したりすることで、異なる意見や他者の考えを受け入れることができるようにする。 【力を合わせたり交流したりして協同的に学ぶ】

6 単元の概要

(1) 単元の目標

校区の自然について調べたり、環境を守る活動を推進している講師の話の聞いたりすることによって、地域における自然環境の現状と問題点を理解するとともに、校区の自然を守るためにできることを考えて実践できるようにする。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

[学習方法に関すること]

対象とのかかわりを通して課題に気付く。

目的に合わせて情報を収集し、比較したり関連付けたりしながら考える。

[自分自身に関すること]

自らの生活の在り方を見直し実践する。

[他者や社会とのかかわりに関すること]

異なる意見や他者の考えを受け入れる。

7 単元の評価規準

評価の観点	学習方法		自分自身	他者や社会との かかわり
	課題設定	思考・分析	自己理解	協同
単元の評価規準	<p>①榎川の上流（水分峡）と下流の水質を調査・比較することで、課題を見付けている。</p> <p>②自分の生活を見つめ直し、環境を守る活動に向けた学習計画を立てている。</p>	<p>①体験活動の中で生じた課題を解決するために、互いの考えについて思考ツールを使いながら整理・分析している。</p> <p>②友達の考えや、書籍などで調べて得た情報を分析したり、比較・関連付けたりしている。</p>	<p>①校区の自然をより良くするために、自分にできることを考え、生活の中で実践しようとしている。</p> <p>②校区の自然環境を守る活動を通して、地域の中の自分の在り方について考えている。</p>	<p>①自分と異なる意見が出て最後まで聞き、協同して課題を解決する方法を考えている。</p> <p>②家族や地域の方にインタビューしたり、学習したことを伝えたりすることで、進んで地域とかかわっていかようとしている。</p>

8 指導と評価の計画（全70時間）

課=課題設定, 思=思考・分析, 自=自己理解, 他=協同

小単元名 (時数)	主な学習内容	評価規準及び評価方法	
1 校区の自然を調べよう (20時間)	<p>○校区の環境について考え、学習テーマを設定する。(2)</p> <p>○校区の自然（榎川）がどのような状態なのか調査する。(2)</p> <p>○調査したことを分析する。(2)</p> <p>○榎川の水質が悪くなる原因を予想する。(1)</p> <p>○専門家の話を聞いたり、実験や観察をしたりして、下水道について知る。(2)</p> <p>○「水辺の教室」で、水分峡の水生生物を調べる。(4)</p> <p>○調べたことを分析し、榎川の水質が悪くなる原因を考える。(1)</p> <p>○榎川の水質が悪くなることについて分かったことをまとめ、発表する。(6)</p>	<p>課①</p> <p>思①</p> <p>協①</p>	<p>制作物による評価 (ワークシート)</p> <p>制作物による評価 (ワークシート)</p> <p>観察による評価 (行動観察)</p> <p>制作物による評価 (新聞)</p>
2 できることにチャレンジしよう	<p>○校区の自然環境をより良くするために自分たちにできることを考える。(1)</p>		

<p>(23時間)</p>	<p>○これまでの学習を振り返り，学習計画を立てる。(1)</p> <p>○榎川をよみがえらせよう会の方の話を聞き，環境をより良くするためにどうしたらよいか考える。(1)</p> <p>○自分たちが調べたり考えたりしてきたことや，講師に聞いたことを整理する。(1)</p> <p>○榎川クリーン大作戦の計画を立て，実行する。(4)</p> <p>○榎川クリーン大作戦を振り返る。(2)</p> <p>○環境に対する森林の役割について話を聞き，考えをまとめる。(4)</p> <p>○みくまりの森サポートクラブの方に話を聞き，環境についてより良くするためにどうしたらよいか考える。(2)</p> <p>○みくまりの森サポート大作戦の計画を立て，実行する。(5)</p> <p>○みくまりの森サポート大作戦を振り返る。(2)</p>	<p>思②</p> <p>協①</p> <p>自①</p>	<p>制作物による評価 (ワークシート)</p> <p>観察による評価 (行動観察)</p> <p>観察による評価 (行動観察)</p>
<p>3 みんなに 伝えよう (27時間)</p>	<p>○これまでに調べたことや活動してきたことを振り返り，学習計画を考える。(2)</p> <p>○効果的に伝えるにはどのような方法があるのか調べる。(2)</p> <p>○学習をして考えたことを伝えたい相手に伝える方法を選ぶ。(2) (本時1/2及び2/2)</p> <p>○伝えたい相手に環境を守る方法を伝える計画を立てる。(2)</p> <p>○選んだ方法でグループごとに話し合いながらまとめる。(8)</p> <p>○伝えたい相手に伝える。(7)</p> <p>○これから自分が生活の中で実行することを考える。(2)</p> <p>○まとめたことを発表する。(2)</p>	<p>課②</p> <p>思②</p> <p>自②</p> <p>協②</p>	<p>制作物による評価 (ワークシート)</p> <p>制作物による評価 (ワークシート)</p> <p>観察による評価 (行動観察)</p> <p>観察による評価 (行動観察)</p>

9 本時について

第4学年2組(本時1/2)

「みんなに伝えよう」 学習して考えたことを伝えたい相手に伝える方法を選ぶ。

(1) 本時の目標

- 「環境を守る方法」の伝える方法についてメリット・デメリットを用いて整理・分析し、多角的に思考することができる。

(2) 準備物

ワークシート 付箋

(3) 本時の展開

学習活動	・指導上の留意点, ◇予想される児童の反応 ◎言語活動の充実	評価規準(評価方法)
1 学習計画を振り返る。 2 めあてを知る。	・今日の学習が本単元のどの辺りなのかを知らせ, 見通しをもたせる。	
伝える方法を選ぶために, メリット, デメリットを見付けよう。		
3 どんな力を付けるか確認する。	・どんな力を付けるための活動にするのかを考えさせることで, 活動の意味を明確にできるようにする。 ◇今日は, 調べたことを分析する力を付けるよ。	
4 これまでに考えてきた方法を確認する。 5 ワークシートに, 環境を守るための伝える方法と, そのメリット・デメリットを書く。 6 グループの中で友達と意見を交流し合い, それぞれの伝える方法を分析する。	・前時までに考えた方法を出し合い, 分析をする際の参考にできるようにする。 ・調べたときのワークシートを見ながら, 短い言葉でカードに書くよう, 声をかける。 ◇新聞は, 作ったことがあるからできそう。 ◇ポスターは, みんなに見てもらえるよ。 ◇リーフレットは, 沢山つくれないよ。 ◇看板なら沢山の人に見てもらえるよ。 ◎お互いの考えを伝え合うことで, 自分の考えをより深めることができるようにする。 ◇なるほど, 僕は, みんなが見てくれる看板を作りたいな。	【思考・分析】 ① 伝える方法の互いの考えについて, 思考ツール(メリット・デメリット)を使いながら整理・分析している。 (行動観察) (ワークシート)

7 分析したことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループのワークシートを見てまわり、伝える方法を選択する際の参考にできるようにする。 	
8 メリット・デメリットでの分析を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ◇絵本は、小さい子どもにも分かりやすい。だけど、たくさん作れません。 ◇メリット、デメリットが分かると、伝える方法を選ぶ時に考えるもとなりそう。 	
9 振り返りをし、次時の学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 座標軸を用い、伝え方を決定することを伝え意欲をもたせる。 	

(4) 板書計画

みんなに伝えよう

伝える方法を選ぶために、メリット、デメリットを見付けよう。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; min-height: 100px;">本時の流れ</div>	<p>(方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードゲーム ・リーフレット ・絵本 ・CM ・ポスター ・アクリルたわし ・カレンダー ・新聞 ・まんが ・かるた 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> カードゲーム ○ △ </div> <p>(振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなの考えを聞いて、伝える方法にもメリット、デメリットがあるのが分かった。
--	--	---

第4学年1組(本時2/2)

「みんなに伝えよう」 学習して考えたことを伝えたい相手に伝える方法を選ぶ。

(1) 本時の目標

- 座標軸の入ったワークシートを用いて整理・分析し、環境を守るための方法を地域の方たちに伝える手段を選ぶことができる。

(2) 準備物

座標軸の入ったワークシート 付箋

(3) 本時の展開

学習活動	・指導上の留意点, ◇予想される児童の反応 ◎言語活動の充実	評価規準(評価方法)
1 学習計画を振り返る。 2 本時のめあてを知る。	・今日の学習が本単元のどの辺りなのかを知らせ, 見通しをもたせる。	
かんきょうを守る方法の伝え方を選ぼう。		
3 どんな力を付けるか確認する。	・どんな力を付けるための活動にするのかを考えさせることで, 活動の意味を明確にできるようにする。 ◇「○○だから, ~だ。」を見付ける力を付けられると思うよ。	
4 これまでに考えてきた方法を確認する。 5 グループの中で友達と意見を交流し合い, どの方法が伝え方としてよいかについて分析する。 6 分析したことを交流する。 7 自分がまとめた方法を選ぶ。	・前時までに考えた方法を出し合い, 分析をする際の参考にできるようにする。 ・座標軸の入った学習シートを用いて整理・分析することで, より良い方法を選択できるようにする。 ◎お互いの考えを伝え合うことで, 自分の考えをより深められるようにする。 ◇子どもたちには, 楽しみながら考えてもらうのがいいね。 ・他のグループのワークシートを見てまわり, 方法を選択する際の参考にできるようにする。 ◇カードでまとめることにしました。わけは, 子どもたちに伝えるには, 楽しめる方法が良いと思ったからです。 ◇看板を選びました。わけは, たくさんの人に見てもらいたいからです。	【思考・分析】 ② 友達の考えや講師などの話を聞いたり, 書籍などで調べたりして得た情報を比較・関連付けている。 (ワークシート)
8 振り返りをし, 次時の学習について知る。	・まとめる計画を立てることを伝え, 意欲をもたせる。	

(4) 板書計画

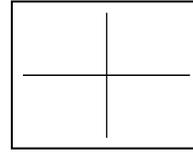
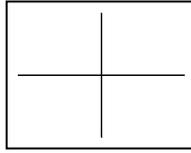
みんなに伝えよう

かんきょうを守る方法の伝え方を選ぼう。

本時の流れ

(方法)

- ・カードゲーム
- ・リーフレット
- ・絵本
- ・CM
- ・ポスター
- ・アクリルたわし
- ・カレンダー
- ・新聞
- ・まんが
- ・かるた



(ふり返り)

- ・「〇〇だから、～だ。」
を考えることができた。
- ・楽しみになってきた。